

フリーシンクロロッキング オフィスワークチェア取扱説明書

このたびはフリーシンクロロッキング オフィスワークチェアをお買求めいただき、誠にありがとうございます。

フリーシンクロロッキング オフィスワークチェアは、オフィスワーク中に自然に変化する姿勢を、身体への負担をかけずに的確にサポートする機構を備えています。この取扱説明書をよくご覧のうえ、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

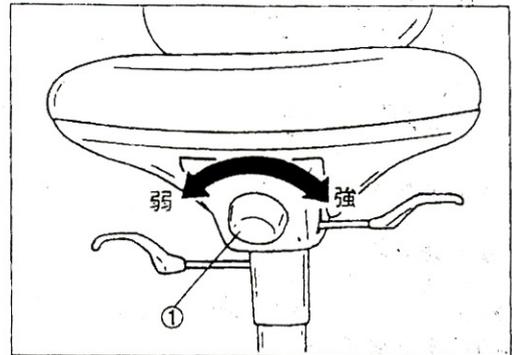
(裏面の「当社製品のご使用にあたって」をよくお読み下さい。)

■ 1. フリーシンクロロッキングの強弱調整

フリーシンクロロッキングは、体重やお好みに合わせて強弱を調整してください。

座席裏側の強弱調節ノブ①を回して(右=強/左=弱)調整します。

調節の目安は、姿勢をもどす時、背もたれが自然についてくる程度どしてください。あまり弱くしすぎると、ロッキングした時に機構部に衝撃がかかり、故障の原因となる場合があります。

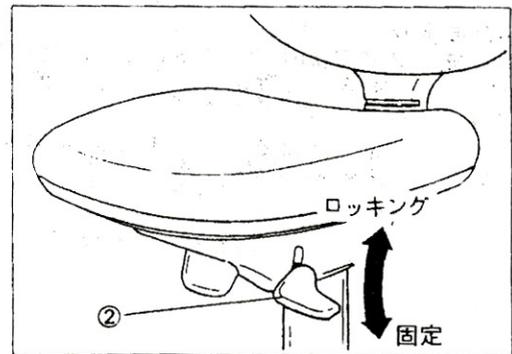


■ 2. フリーシンクロロッキングストッパー

ロッキング初期の座席と背もたれが最も前に起きた状態で、レバー②を「カチッ」とロックされるまで押し下げると、座席と背もたれが固定されロッキングができなくなります。

解除する時は、レバー②を「カチッ」とロックされるまで引き上げてください。ロッキングができるようになります。

ロッキング中のレバー操作は、機構部の故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

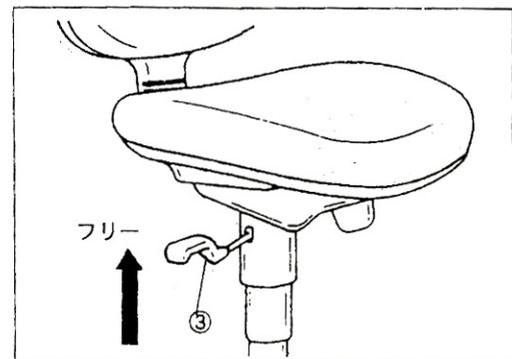


■ 3. 座の上下調節

座を上げる時は腰を浮かし、レバー③を引き上げながら適当な高さまで座席が上昇した所でレバー③を離すと固定されます。

座を低くする時は座席の中央部に腰を掛け、レバー③を引き上げながら適当な高さまで座席が下降した所でレバー③を離すと固定されます。

上下調節中は危険ですから、座席下側に足などを置かないでください。



【当社製品のご使用にあたって】

- このチェアは、屋内で使用することを目的としております。屋外や水のかかる所、水中などでは絶対に使用しないでください。
- 逆方向や不自然な姿勢で座ること、およびチェアの座面に立ち上がった時、肘掛け、背もたれに座ることは、チェアの安定性を損ない転倒する恐れがありますから絶対に行わないでください。
- チェアは段差や傾斜のあるところでは使用しないでください。またご使用前に脚端がすべて床面に接していることを確認してください。一カ所でも脚端が浮いた状態では、安定性が著しく損なわれ大変危険です。
- 背が背もたれに当たる自然な状態の座り方で、足がとどかない座席の高さでの使用は避けてください。
- 調節操作装置は必ず取扱説明書の指定の方向で操作してください。
- 可動部の隙間に指や手を入れると、指づめなどを引き起こす場合がありますから絶対に入れないでください。
- 座裏と脚の空間、または背と座、肘と座の空間に手や足を入れたまま使用したり操作すると、けがをする恐れがありますので絶対に行わないでください。
- 直射日光の当たる場所、および高温の熱源の付近での使用は避けてください。チェアの変形や変色を引き起こすことがあります。
- チェアの座面に長時間、物を置いたりしないでください。クッションの変形を起こすことがあります。
- チェアは使用中、移動中、いかなる時でも壁、デスクなどに強く当てたり、持ち上げて落下させるなど乱暴に扱わないでください。
- 分解および改造は絶対に行わないでください。
- 使用中に不具合や異常を感じた場合には即座に使用をやめ、お求めの販売店、もしくは当社までご連絡ください。